

教員名	高橋 済	所属学科	経済学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>ゼミナールでは、現代社会・地域社会における社会・経済問題を分析する手法を学習します。各ゼミ生の問題意識に応じた基本的な経済学の知識、経済分析の手法の学習を想定しています。また、文章読解、発表等の社会的技能の習得もこの過程で行います。 (社会・経済問題の例) 並行在来線問題、ふるさと納税、賃上げ税制、市町村合併</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>経済学者による一般書、教科書、経済分析の文献を輪読し、専門知識を習得します。</p> <p>基礎演習(2年次後期)では、経済を解釈する手法を学習します。PCを活用した経済分析の学習、データ解説と共に、発表やディスカッションなどの双方向学習も実施する予定です。ここでは、演習に向けての基礎的な学力を身に着けることを目標とします。</p> <p>演習Ⅰ(3年次)では、卒業論文執筆に向けて、経済論文の構造や探し方、データの探し方や論文執筆の手法を解説した上で、論文の輪読や執筆を行います。これらを通じ、社会に通用する専門性の習得を目指します。</p> <p>演習Ⅱ(4年次)では、卒業論文の執筆を行います。基礎演習・演習Ⅰで培ってきた現代経済・地域経済についての問題意識をテーマとして、前期には相互報告やディスカッション、先行研究の報告、後期には卒業論文の執筆と最終報告、卒業論文の提出を行っていただきます。ゼミを終えた卒業時、経済学を用いた課題解決のスキルとその証明である論文を携え、旅立っていただくことがゼミの最終目標です。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>4年間をかけてある学問を専門的なところまで学習することで得られた価値観は、情報の氾濫する社会で判断し、活動を行う上で重要になります。また、ゼミで身に着けられる問題発見・解決能力は、公務員として政策課題に取り組む際、民間企業で企画を立案・実行する際、起業家・経営者としてビジネスを展開する際など、あらゆる時間と場所で重要となります。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセモグル他『ALL 入門経済学』東洋経済新報社、2020年</li> <li>・神取道宏『ミクロ経済学の力』日本評論社、2014年</li> <li>・マンキュー『マンキューマクロ経済学Ⅰ入門篇』東洋経済新報社、2017年</li> </ul>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>大学生活で行う事の選択肢は今までの人生より格段に多くなります。周りの意見を聞き、一方で周囲に流されことなく自分の判断で選択しましょう。その判断で、本ゼミナールを選んでいただければ幸いです。</p>			